

2022年10月31日

日本船主協会 企画部広報室

～海運の重要性を学校教育の場で～
全国小学校社会科研究協議会研究大会（札幌）にてブースを出展

当協会は、日本の暮らしと産業を支える海運をはじめとする海事産業の重要性を学校教育において取り上げていただくよう、商船・海事施設等の見学会や出前授業などに取り組んでおります。

今般、日本海事広報協会および北海道海事広報協会と協力し、全国小学校社会科研究協議会研究大会の会場内にブースを出展し、同研究大会に出席した小学校社会科の先生約 200 名に対し、出前授業、商船の見学会の様子や当協会制作コンテンツ等を紹介するとともに、各種関連資料を配布しました。

海運に関心がある先生も多数おり、意見交換をした札幌市内の先生からは、「市内の小学校全校（約 200 校）では小樽港などについて学ぶ時間があるが、児童達を同港に連れていくのは難しい為、実際に海の現場で働く人の話を聞ければ貴重な機会になる」「興味深い資料である」などといった声が聞かれました。



当協会は、今後も海事関連諸団体などと連携しながら、先生方への継続的なアプローチなどを通じ、海事産業をより教育に取り上げてもらえるよう広報活動に注力してまいります。

以上